



お客さまとご家族の
人生の伴走者となる



決算説明資料

2026年3月期
第1四半期

2025.7.30 アイザワ証券グループ株式会社 証券コード:8708

≡ アイザワ証券グループ



Agenda

サマリー P 3

KPI進捗状況 P 9

中期経営計画 P13

本資料に関して

本資料は、2026年3月期第1四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は2025年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

新企業理念

Purpose

私たちの存在意義

より多くの人に より豊かな生活を

Vision

私たちのあるべき姿

資産運用・資産形成を通じて
お客さまとご家族の人生の伴走者となる

Values

私たちが大切にする価値観

チャレンジ

リレーション
シップ

プロフェッショナル
リズム

チームワーク

PVVイメージ動画

PVVのイメージ動画をアイザワ証券グループホームページに掲載しております。
<https://www.aizawa-group.jp/company/pvv.html>



アイザワ宣言

お客さまへ

私たちはお客さまの未来を見据えた
金融サービスを提供します

株主の皆さまへ

私たちは持続的な成長を通じて
企業価値向上に努めます

社会へ

私たちは地域との繋がりを大切に
社会の発展に貢献します

従業員の皆さんへ

私たちは社員一人ひとりを尊重し
成長と挑戦を後押しします

お客さまとそこそご家族の資産運用・資産形成の伴走者としてのビジネスモデルを確立し、
安定的にROE目標を達成できる事業構造・収益構造に転換する3年間と位置付ける

アイザワの目指す「伴走者」とは

お客さまとそこそご家族の資産運用・資産形成に関して、継続的に話を傾聴し、それぞれのライフステージに合った提案・アドバイスを送り、世代を超えて対話を続ける、**長期にわたる人生のパートナー**です。

環境認識

「対面による継続的対話・
アドバイス」への
ニーズの高まり

- 「貯蓄から投資へ」の大きな流れにより、個人の資産運用・資産形成の関心が集まる
- 長期目標に対して、**対話による継続的アドバイスへのニーズ**が高まっている

中期経営計画（2025年4月～2028年3月）

事業構造・
収益構造の転換

- 「**ゴールベースアプローチ型**」営業と「**地域密着**」を徹底することで「継続的・長期的にお客さまに寄り添う」価値を提供
- 毎年度の利益水準に注意しつつ、**中期的な企業価値の向上を最優先**

当社が目指す将来の姿

資産運用・資産形成を通じて
お客さまとそこそご家族の
人生の伴走者となる

- 長期にわたる人生のパートナーとして、**お客さまとそこそご家族の人生の伴走者**となる
- 市況に左右されない、安定的な経営体制を実現し、**安定的にROE目標を達成**

2026年3月期1Q

エグゼクティブサマリー – [連結]

アイザワ証券グループ

営業収益

4,242百万円

前年同期比: △ 14.3%

親会社株主に帰属する純利益

127百万円

前年同期比: △ 84.4%

ROE

1.2%

(26年3月期1Q利益を年率換算)

前期比: △ 5.1pt

ストック商品預り資産

4,679億円

前年同期比: + 18.4%

総預り資産

2兆962億円

前年同期比: + 2.7%

実質ストック収益^{※1}・実質販管費カバールール^{※2}

25.1%

前期比: △ 3.6pt

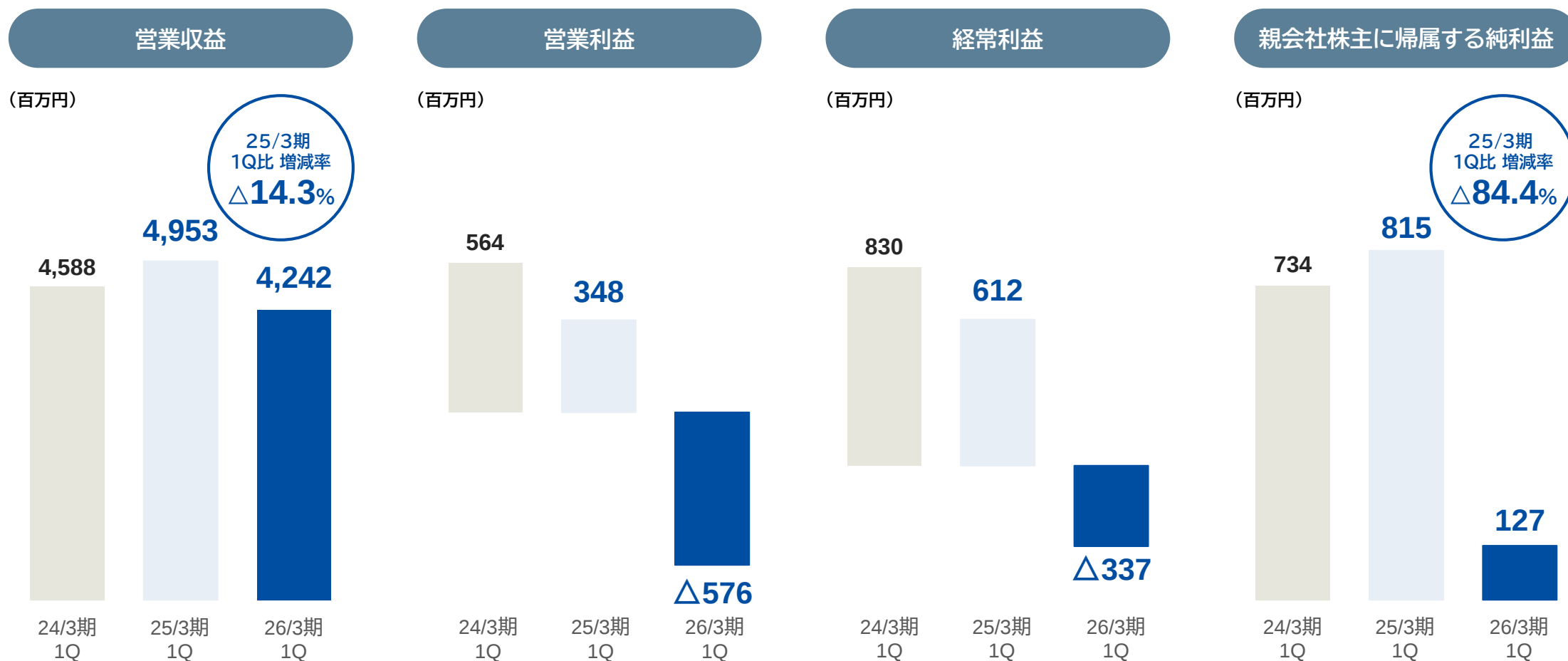
※1 実質ストック収益: 信託報酬とラップ報酬の合計額から金融商品仲介業者等に支払う仲介手数料分を除外した収益額

※2 実質販管費: アイザワ証券の販売費・一般管理費から金融商品仲介業者等に支払う仲介手数料を除外した額

振り返り・社長メッセージ

本格的な事業構造改革に着手した四半期でした。とりわけ、ゴールベースアプローチへの転換と、投資信託やラップ商品の残高増加に取り組んだ結果、KPIである総預り資産とストック商品預り資産は過去最高額を更新いたしました。一方で、改革を進めるうえで短期的な収益は減少にはなりましたが、足元の利益水準や株価に留意しつつ、中長期的な企業価値向上のための取組みを揺るぎなく進めてまいります。

米国の相互関税への懸念が高まり、株式市場が大きく乱れたことにより営業収益が減少しました。販売費・一般管理費は物価上昇により高止まりする結果となったため、営業利益・経常利益共にマイナスに転じました。一方で、投資事業の有価証券売却等により特別利益726百万円を計上し、親会社株主に帰属する純利益は127百万円となりました。



2026年3月期1Q

決算概要(四半期推移) - [連結]

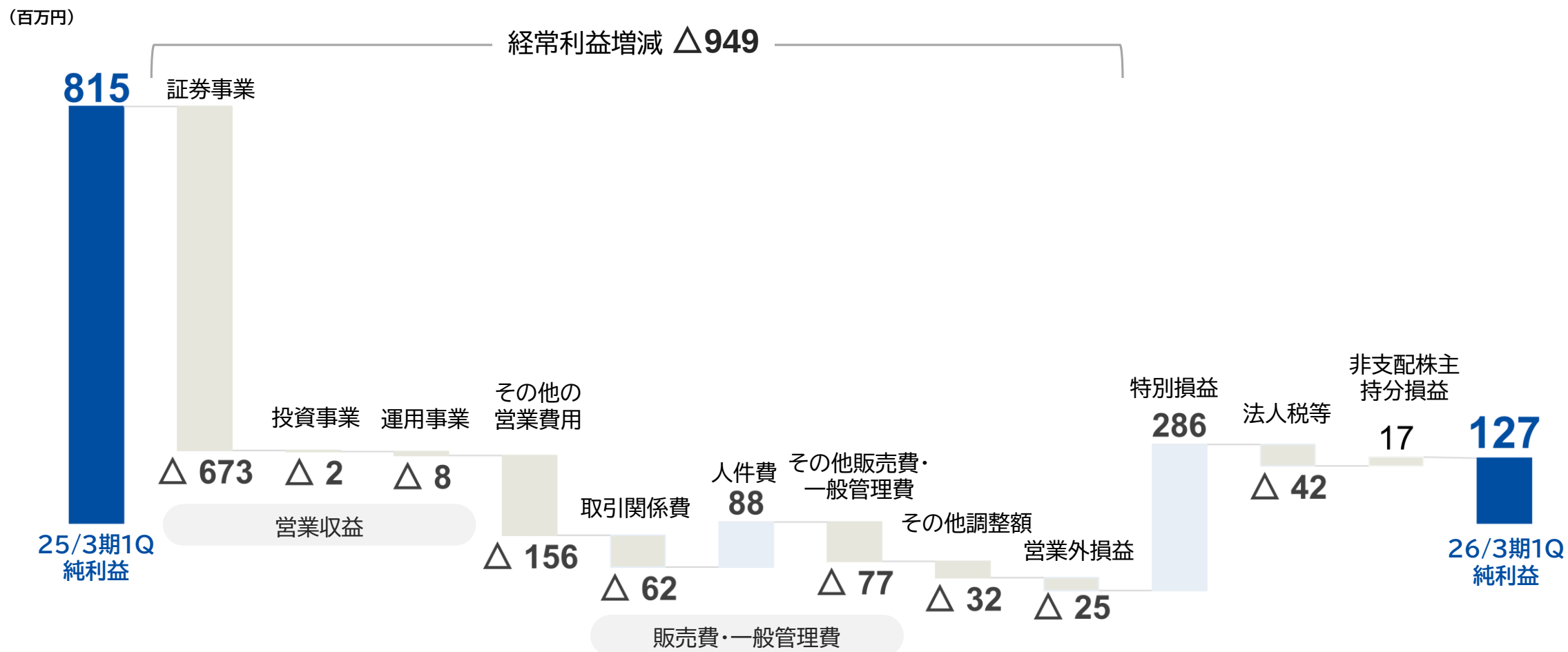
アイザワ証券グループ

前四半期(2025年3月期4Q)との比較では、株式市場が大きく乱れたことに加え、投資事業において投資先の減損が発生したため、営業収益は21.0%減少しました。投資事業の有価証券売却等により特別利益726百万円を計上したものの、親会社株主に帰属する純利益も前四半期を下回る結果となりました。

(百万円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期4Q比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q		
営業収益	4,953	4,580	5,681	5,372	4,242	△21.0%
販売費・一般管理費	4,524	4,396	4,618	4,597	4,575	△0.5%
営業利益又は営業損失	348	△42	1,009	570	△576	—
経常利益又は経常損失	612	46	1,182	729	△337	—
税引前利益	1,051	1,066	1,776	756	388	△48.6%
親会社株主に帰属する純利益	815	711	1,233	412	127	△69.2%
1株当たり 四半期純利益(円)	24.33	22.88	39.72	13.28	4.09	—

2026年3月期1Q 純利益 増減要因(累計) - [連結]

収益構造の変革を優先した結果、証券事業における営業収益は前年同期(2025年3月期1Q)比で673百万円の減少となりました。加えて、投資事業において有価証券の減損等があり、その他の営業費用が同156百万円増加しました。一方で投資事業の有価証券売却による特別利益の増加等により、純利益は127百万円となりました。



アイザワ証券グループ



証券事業

お客様の資産形成をサポートするため、資産運用コンサルティング等を行う

営業収益

4,074
百万円

前年同期比
△14.2%

税引前利益

△227
百万円

前年同期比
—%

- 収益構造の変革を進めたが、市況環境の悪化や物価高によるコスト増により利益は赤字



投資事業

有価証券、不動産、成長企業に対して自己投資を行う

営業収益

168
百万円

前年同期比
△1.4%

税引前利益

746
百万円

前年同期比
+5.7%

- 投資先のファンドからの収益減少
- 投資ポートフォリオの入替により投資有価証券売却益計上



運用事業

機関投資家を中心にオルタナティブ運用等の運用サービスを提供

営業収益

42
百万円

前年同期比
△17.1%

税引前利益

△138
百万円

前年同期比
—%

- 運用するファンドの経費を運用事業にて計上

貸借対照表 - [連結]

資産の部(百万円)	25/3期末	26/3期1Q	増減率
流動資産	70,047	76,014	+8.5%
現金・預金	14,405	21,053	+46.2%
預託金	24,783	26,547	+7.1%
営業投資有価証券	11,230	11,258	+0.2%
信用取引資産	15,478	12,375	△20.0%
信用取引貸付金	15,190	12,049	△20.7%
その他の流動資産	4,149	4,778	+15.2%
固定資産	39,481	40,769	+3.3%
有形固定資産	11,211	11,325	+1.0%
投資その他の資産	28,237	29,413	+4.2%
資産合計	109,529	116,784	+6.6%

主な増減要因

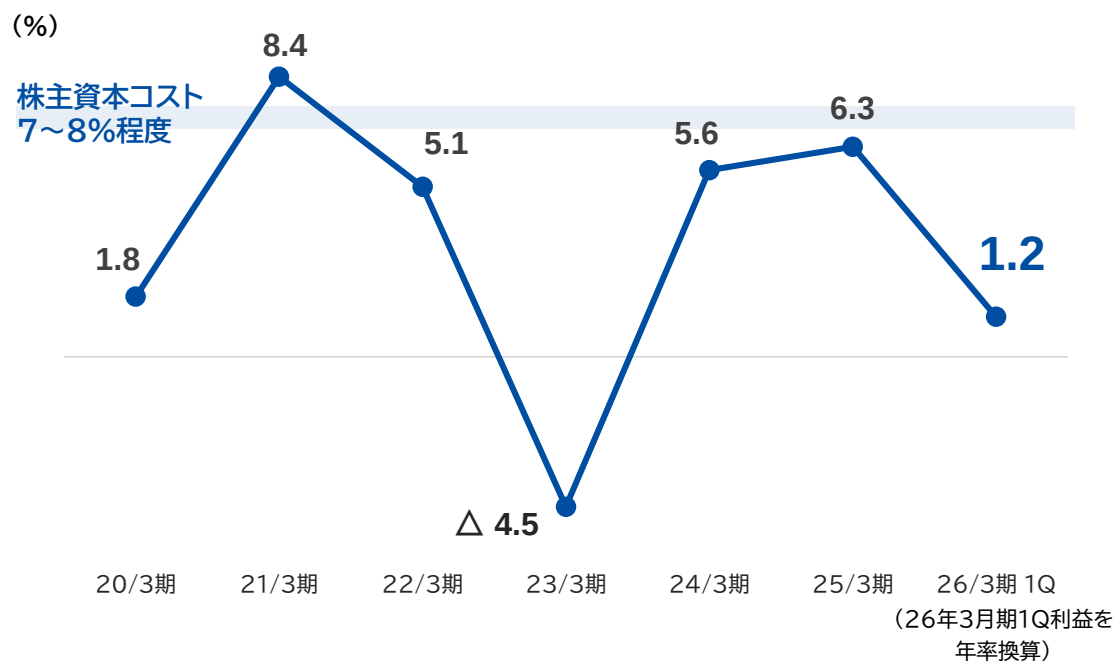
現金・預金	預り金の増加により現金・預金が増加
短期社債	将来の成長に必要な資金を機動的に調達できる体制を構築する事を目的として、無担保社債を発行
純資産	特別配当により、純資産を圧縮し効率的なバランスシートの構築を推進

負債・純資産の部(百万円)	25/3期末	26/3期1Q	増減率
流動負債	51,150	60,146	+17.6%
信用取引負債	4,722	1,710	△63.8%
預り金	23,291	33,608	+44.3%
顧客からの預り金	18,927	24,137	+27.5%
その他の預り金	4,363	9,470	+117.0%
短期借入金	9,675	9,273	△4.2%
短期社債	6,000	8,600	+43.3%
固定負債	10,618	10,596	△0.2%
長期借入金	5,156	5,071	△1.6%
負債合計	61,929	70,902	+14.5%
純資産の部			
株主資本合計	35,557	34,158	△3.9%
うち自己株式	△ 8,508	△8,502	-
その他の包括利益累計額	9,007	8,828	△2.0%
その他有価証券評価差額金	7,968	7,983	+0.2%
純資産合計	47,599	45,881	△3.6%
負債・純資産合計	109,529	116,784	+6.6%

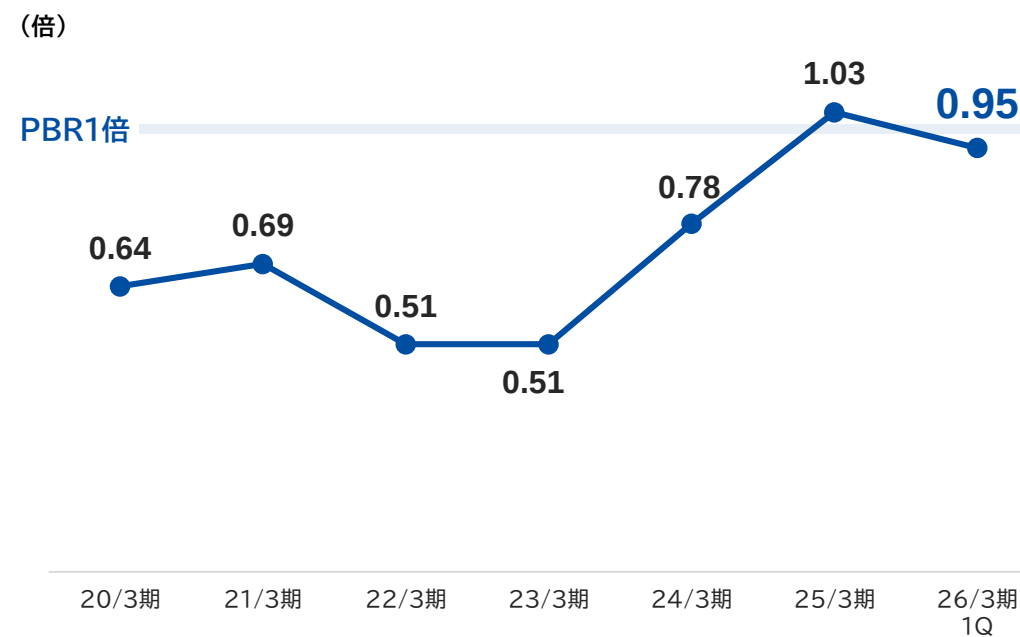
ハイライト

2026年3月期1Q時点のROEおよびPBRについては、ROE1.2%（2026年3月期1Q利益を年率換算）、PBR0.95倍という結果となりました。中期的な企業価値向上を目指す為、引き続き、安定的にROE8%を超えることができる事業構造・収益構造の変革を通じて、資本コストや株価を意識した経営の実現に努めてまいります。

ROEの推移



PBRの推移

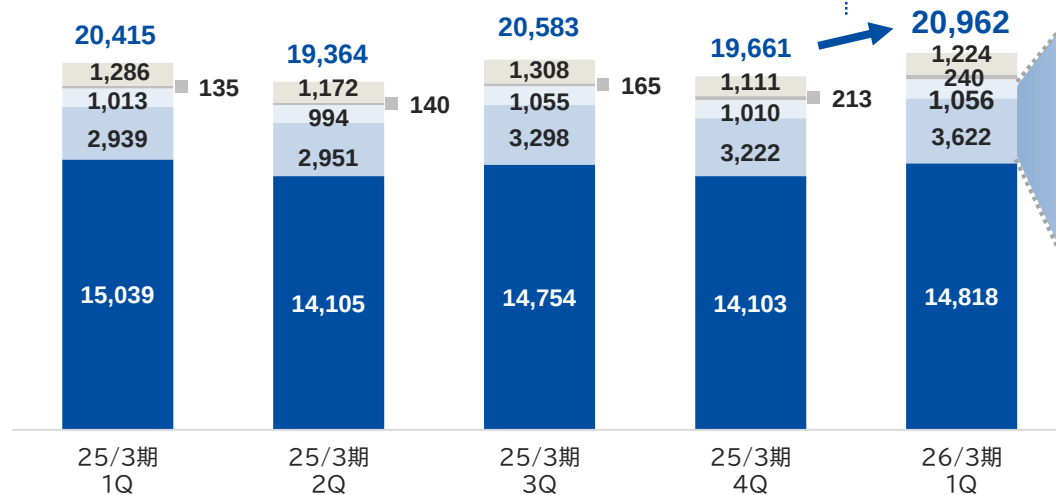


ハイライト

総預り資産及びストック商品預り資産の状況については、ゴールベースアプローチ型営業の推進やプラットフォームビジネスの飛躍等の証券事業の変革への取り組み等により、それぞれ過去最高額を更新しました。引き続き、相場に左右されない安定的な収益構造の構築を目指します。

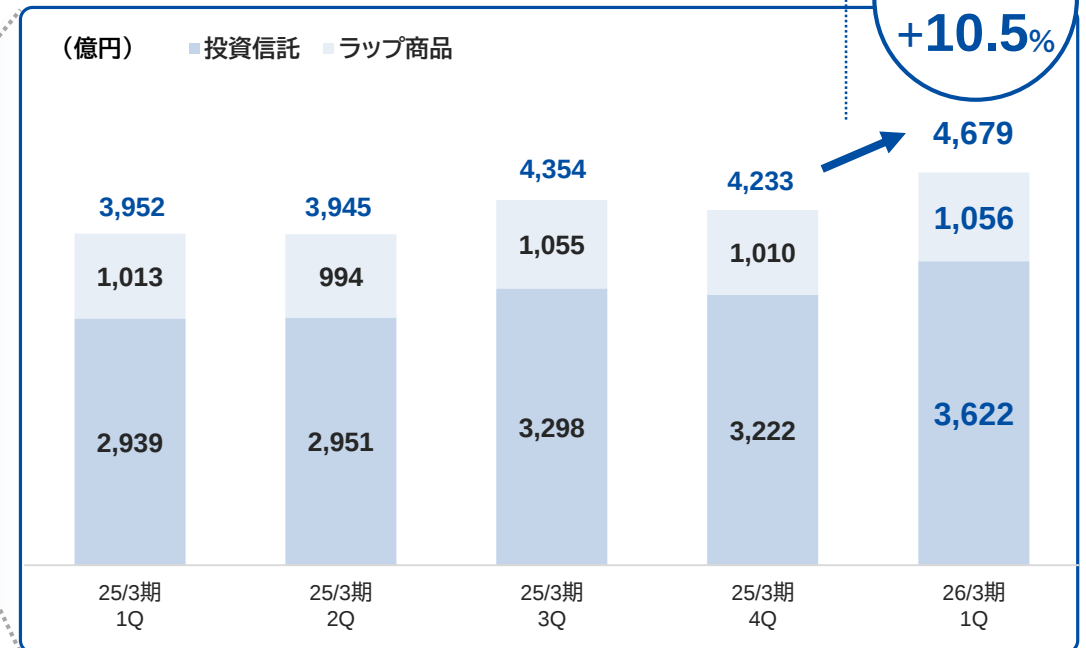
総預り資産の内訳と推移

(億円) ■ 株式 ■ 投資信託 ■ ラップ商品 ■ 債券 ■ その他



ストック商品預り資産の内訳と推移

(億円) ■ 投資信託 ■ ラップ商品



重要KPI

実質ストック収益・実質販管費カバー率の状況 - [アイザワ証券株式会社単体]

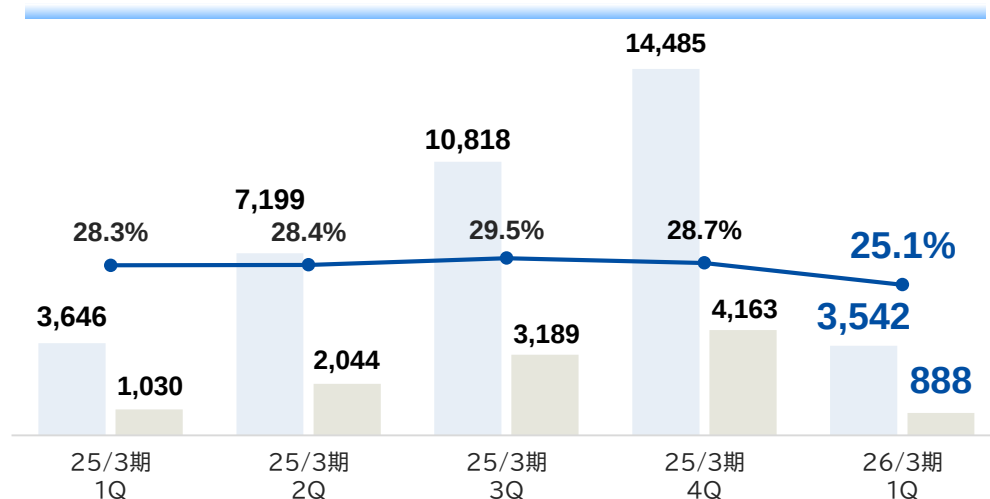
ハイライト

2026年3月期1Qの実質ストック収益・実質販管費カバー率は、25.1%となり、2025年3月期末と比較し、3.6pt減少しました。実質販管費は前年同期（2025年3月期1Q）と比較し、104百万円減少したものの、ラップ関連の報酬の減少に伴い、実質ストック収益が142百万円減少したことがその要因となっております。

実質ストック収益・実質販管費カバー率の推移(年度累計)

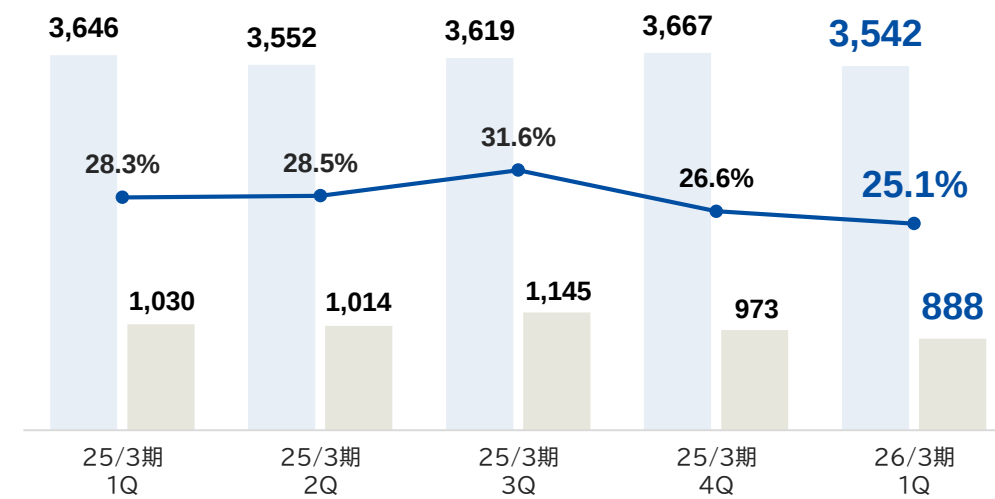
(百万円) 実質販管費 実質ストック収益 実質ストック収益・実質販管費カバー率

目標50%以上



実質ストック収益・実質販管費カバー率の推移(四半期別)

(百万円) 実質販管費 実質ストック収益 実質ストック収益・実質販管費カバー率



利益還元に関する基本方針

2025年3月期～2028年3月期の間、配当と自己株式取得による株主還元を
総額200億円以上実施する

※総還元性向：（自己株取得金額＋普通配当総額）÷純利益

※DOE：普通配当金額÷株主資本

総還元
性向

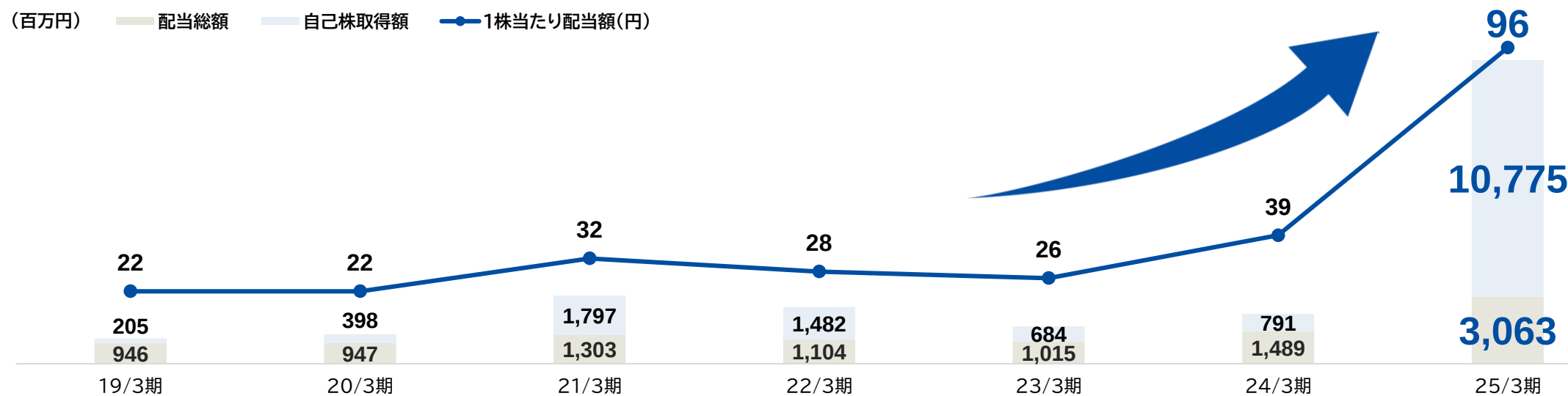
50%以上

株主資本
配当率
(DOE)

2%超

株主還元の推移

(百万円) 配当総額 自己株取得額 1株当たり配当額(円)



DOEの推移

2.20%

3.32%

2.05%

—— ゴールベースアプローチ(GBA)型営業の推進

当社が推進するゴールベースアプローチ型営業とは、お客さまのライフプランに寄り添い、お客さまごとに達成したいゴールに向けたプランをご提供し、個別売買に留まらないトータルサポートでの資産運用・資産形成を伴走支援する事を意味します。2025年4月に発表した中期経営計画では、「ゴールベースアプローチ型営業と地域密着を徹底し、お客さまとそのご家族の資産運用・資産形成の伴走者」となることを掲げ、証券事業の変革を目指しております。

ゴールベースアプローチ型営業の概要

従来の活動の主軸

投資目的

- 主に値上がり/利回りへの期待



当社の提供価値

- 値上がり等が期待できる商品の提案
- 商品・相場の知見の提供
- 相場変動に応じた迅速なフォロー・対応
- ソリューションサービスの提供



お客さまとの関係性

- 投資に関して相談いただけるようなリレーション



今後の活動の主軸(GBA)

- 将来の計画やライフスタイル実現に向けたゴール(投資目標金額)の達成

- ゴール達成のためのプラン提供
- ライフプランに沿ったトータルサポート
- ゴール達成に向けたサポート
- ソリューションサービスの提供

- お客さまのライフプランに寄り添えるようなリレーション

ゴールベースアプローチ型営業推進の取組み

試行店の取組み

ゴールベースアプローチ型営業では、営業スタイルの変革が必要となります。モデル店舗の試行を通じて自社に合った「ゴールベースアプローチ型営業」および必要なサポート体制等を見極める為の取組みです。

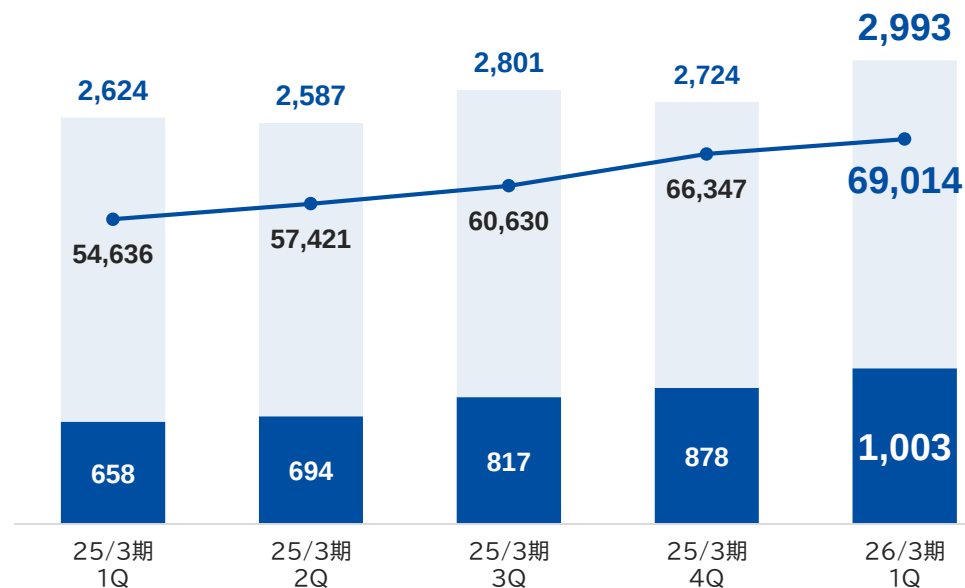
- ゴールベースアプローチ推進担当を新たに設置し、業務の推進・管理・評価を行う
- 定量評価だけではなく、定性評価にも重点を置いた評価体系を導入

プラットフォームビジネスの強化

ライフプランの実現を目指すお客さまを持つ金融商品販売を本業としない仲介業者やIFAと連携。有益な情報や使いやすいシステム等を提供し、対面証券ならではの手厚いサポートで、これらのパートナーと共に顧客基盤を拡大します。

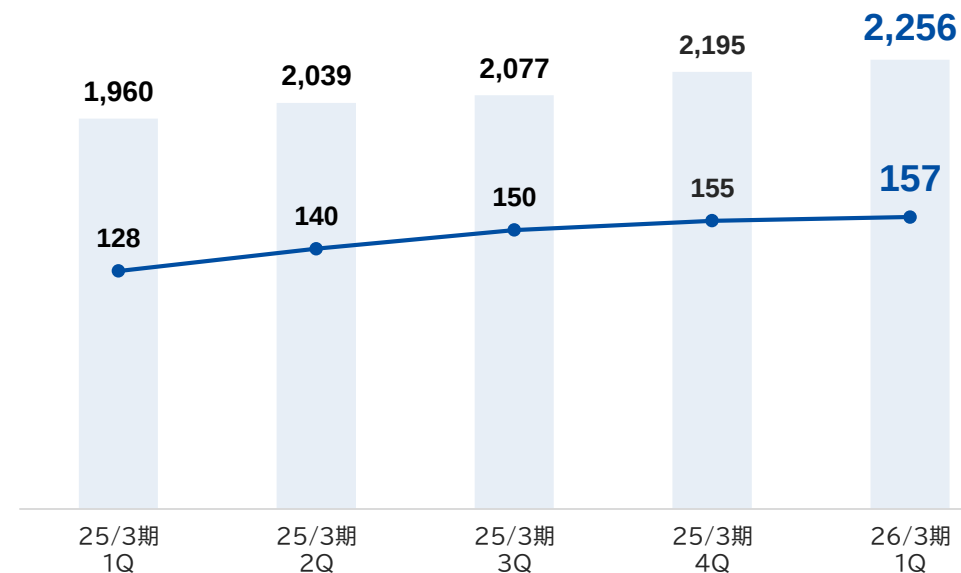
プラットフォーム預り資産(うちストック商品預り資産)

(億円) プラットフォーム預り資産 スtock商品預り資産 口座数(口座)



契約金融商品仲介業者数

契約外務員数(人) 契約金融商品仲介業者数(社)



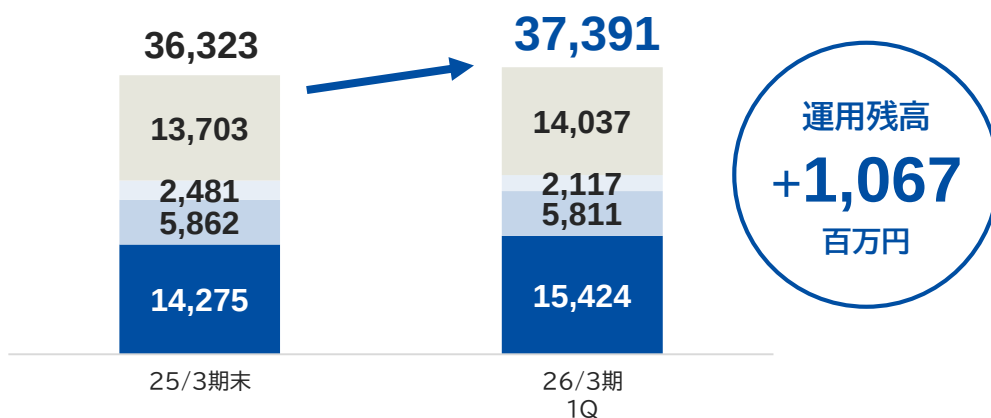
投資事業において、ポートフォリオリバランスを目的とした投資有価証券の売却による特別利益の計上に加え、運用資産が10億円超増加しました。運用事業では、ファンドの清算手続きに伴い運用資産が減少しました。

投資事業のグレードアップ

運用成績を中期的に極大化

中期的な運用成績の極大化を最重視し、それを目的としたポートフォリオ運用、リスク管理およびパフォーマンス評価を行います。アセット売却による、特別利益の計上のほか、保有資産の評価額についても向上しました。

(百万円) ■上場株式(国内外) ■非上場株式(国内外)
■債券(国内外) ■その他(ヘッジファンド、不動産等)

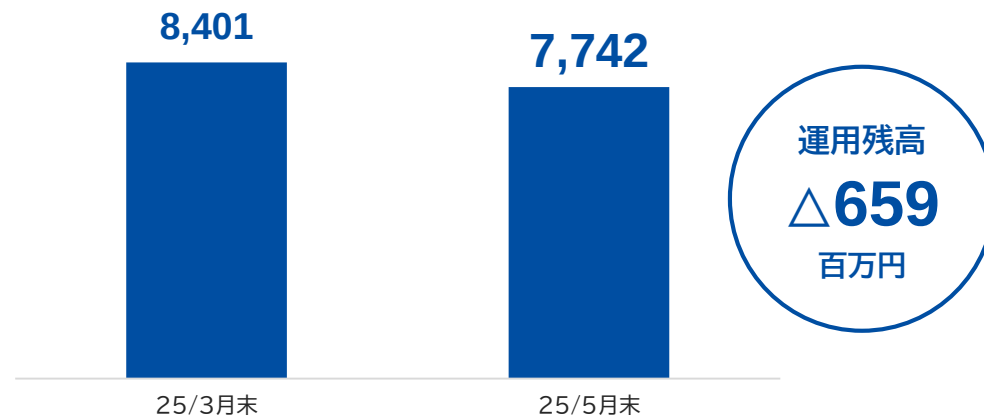


運用事業の再構築

プライベートアセットの運用資産残高増加に注力

プライベートアセットの投資リターンは、高いリスクに見合ったものが期待できるため、運用事業ではプライベートアセットの運用資産残高増加に注力します。

(百万円) ■プライベートアセット運用資産額



コンプライアンスの強化として、コンプライアンスプログラムの策定および「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を刷新しました。

コンプライアンスプログラムの策定について

アイザワ証券グループ株式会社は、役職員の倫理観の醸成を図ることを目的として、2025年度のコンプライアンスプログラムを策定しました。

2025年度 コンプライアンス目標と課題

目標	「高い倫理観のもと、規範に基づき行動し、社会的責任を果たす」
課題	「経営陣の積極的関与」

目標達成のためのプログラム

グループ各社の
内部管理態勢の
強化

全役職員の
コンプライアンス
意識向上

法令違反を
未然防止する
プログラム

今年度の
重点取組事項

〈今年度の重点取組事項〉
アイザワ証券グループの役職員として、法令諸規則の遵守だけに留まらず、プリンシプルベースが基盤となるよう経営陣が積極的に関与。社会的な要請の観点から高い倫理観をもって業務にあたります。

お客さま本位の業務運営に関する取組方針の刷新

アイザワ証券株式会社はお客さまにより良いサービスの提供を行うため、お客さま本位の業務運営に関する取組方針を、各年度の環境変化を踏まえ定期的に公表しております。

2025年度の環境変化

- 「パーパス・ビジョン・バリュー」、「アイザワ宣言」の策定
- 中期経営計画の策定
- 金融庁による「顧客本位の業務運営に関する原則」の改訂

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

1. お客さまとご家族の人生の伴走者となる
2. お客さまとの利益相反の適切な管理
3. 手数料等の明確化
4. お客さまへの適切な情報提供
5. お客さまの未来を見据えた金融サービスの提供
6. 行動規範に基づく企業文化と人材育成
7. プロダクト・ガバナンスの強化

決算説明資料

2026年3月期 第1四半期

Appendix

≡ アイザワ証券グループ

商号	アイザワ証券グループ株式会社
資本金	80億円
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 藍澤 卓弥
創業年月日	1918年(大正7年)7月7日 (1933年(昭和8年)10月3日 設立)
所在地	〒105-7307 東京都港区東新橋一丁目9番1号 東京汐留ビルディング
連絡先	03-6852-7744
従業員数	762名 ※2025年6月末現在

01

ゴールベース アプローチ型営業



ゴールベースアプローチ型営業により、お客さまのライフプランに寄り添い、お客さまごとに達成したいゴールに向けたプランをご提供し、個別売買に留まらないトータルサポートでの資産運用・資産形成を伴走支援いたします。

02

プラットフォーム ビジネス



金融機関ならびにIFA事業者へ利便性や経済合理性などの質の高い提案プラットフォームの提供を通じ、これまでの取引チャネルを超越した、さらに広範なお客さまへサービスの提供を行います。

03

ソリューション サービス



課題の明確化からアフターフォローまで、個人の相続、経営者の事業承継、法人のビジネス拡大、地域の課題などの幅広いニーズに対し、国内外のアライアンスネットワークを活かした多彩でユニークなソリューションを提供いたします。

新企業理念

Purpose

私たちの存在意義

より多くの人に
より豊かな生活を

Vision

私たちのあるべき姿

資産運用・資産形成を通じて
お客さまとご家族の
人生の伴走者となる

Values

私たちが大切にしている価値観

チャレンジ

行動力
成長
変革

リレーションシップ

信頼
思いやり
安心

プロフェッショナリズム

誠実
責任
使命感

チームワーク

調和
敬意
結束

事業戦略

証券事業の変革

投資事業のグレードアップ

運用事業の再構築

経営機能強化

コンプライアンスの
強化

人的資本投資の
取組強化

生産性の向上

リスク管理の
強化

サステナビリティ
推進

株主還元方針

特別配当

2026年3月期～2028年3月期まで
特別配当(年間1株70円)を実施

普通配当 &
自己株取得

前中期経営計画の方針を継続
普通配当および自己株式取得は総還元性向
50%以上、普通配当は株主資本配当率(DOE)
2%を超えることを基本方針とする

KPI

ROE
(自己資本利益率)

8%以上

女性管理職
比率

15%以上

エンゲージメント
スコア

80%以上

ストック商品
預り資産

8,000
億円以上

総預り資産

2兆5,000
億円以上

実質ストック収益
実質販管費カバー率

40%以上

企業価値向上

資本コストや
株価を意識した経営

業績目標

ROE(自己資本利益率) **8%**以上 2025年3月期 **6.3%**

事業目標

ストック商品預り資産

8,000億円以上
2025年3月末 4,233億円

総預り資産

2兆5,000億円以上
2025年3月末 1兆9,661億円

実質ストック収益※1
実質販管費カバー率※2

40%以上 2025年3月期 **28.7%**

非財務目標

女性管理職比率

15%以上 2025年3月末 **13.8%**

エンゲージメントスコア※3

80%以上 2025年3月期 **72.1%**

※1 実質ストック収益:信託報酬とラップ報酬の合計額から金融商品仲介業者等に支払う仲介手数料分を除外した収益額 ※2 実質販管費:アイザワ証券の販売費・一般管理費から金融商品仲介業者等に支払う仲介手数料を除外した額

※3 エンゲージメントスコア:アイザワ証券グループのエンゲージメント調査において、回答者のうち当社グループに愛着や誇りを感じる、もしくはやや感じると回答する社員の割合

資産の部(百万円)	25/3期末	26/3期1Q	増減率
流動資産	70,047	76,014	+8.5%
現金・預金	14,405	21,053	+46.2%
預託金	24,783	26,547	+7.1%
営業投資有価証券	11,230	11,258	+0.2%
トレーディング商品	347	406	+16.9%
約定見返勘定	1,294	1,039	△19.7%
信用取引資産	15,478	12,375	△20.0%
信用取引貸付金	15,190	12,049	△20.7%
立替金	521	1,114	+113.8%
短期差入保証金	-	-	-
その他の流動資産	1,985	2,218	+11.7%
固定資産	39,481	40,769	+3.3%
有形固定資産	11,211	11,325	+1.0%
賃貸不動産	9,259	9,296	+0.4%
無形固定資産	32	30	△5.9%
投資その他の資産	28,237	29,413	+4.2%
投資有価証券	25,208	26,224	+4.0%
貸倒引当金	△ 8	△ 8	-
資産合計	109,529	116,784	+6.6%

負債・純資産の部(百万円)	25/3期末	26/3期1Q	増減率
流動負債	51,150	60,146	+17.6%
トレーディング商品	24	145	+490.7%
信用取引負債	4,722	1,710	△63.8%
信用取引借入金	4,173	1,062	△74.5%
有価証券担保借入金	482	1,298	+169.3%
預り金	23,291	33,608	+44.3%
顧客からの預り金	18,927	24,137	+27.5%
その他の預り金	4,363	9,470	+117.0%
受入保証金	4,350	3,713	△14.6%
短期借入金	9,675	9,273	△4.2%
短期社債	6,000	8,600	+43.3%
固定負債	10,618	10,596	△0.2%
長期借入金	5,156	5,071	△1.6%
繰延税金負債	4,994	5,048	+1.1%
特別法上の準備金	160	160	△0.0%
金融商品取引責任準備金	160	160	△0.0%
負債合計	61,929	70,902	+14.5%
純資産の部			
株主資本合計	35,557	34,158	△3.9%
うち自己株式	△ 8,508	△ 8,502	-
その他の包括利益累計額	9,007	8,828	△2.0%
その他有価証券評価差額金	7,968	7,983	+0.2%
非支配株主持分	3,035	2,894	△4.6%
純資産合計	47,599	45,881	△3.6%
負債・純資産合計	109,529	116,784	+6.6%

(百万円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期1Q比 増減率	25/3期4Q比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q			
セグメント別営業収益連結計	4,953	4,580	5,681	5,372	4,242	△14.3%	△21.0%
証券事業	4,747	4,235	4,778	4,111	4,074	△14.2%	△0.9%
投資事業	170	290	762	1,183	168	△1.4%	△85.8%
運用事業	51	68	173	129	42	△17.1%	△67.2%
その他調整	△ 16	△ 13	△ 33	△ 52	△42	-	-
セグメント別営業利益連結計	348	△ 42	1,009	570	△576	-	-
証券事業	325	△ 27	285	△ 327	△258	-	-
投資事業	70	△113	667	915	△137	-	-
運用事業	△ 71	△ 65	53	△ 33	△131	-	-
その他調整	23	164	3	17	△48	-	-
セグメント別税引前利益連結計	1,051	1,066	1,776	756	388	△63.0%	△48.6%
証券事業	355	△ 42	313	△ 264	△227	-	-
投資事業	706	980	1,335	1,059	746	+5.7%	△29.6%
運用事業	△ 81	△ 61	39	△ 28	△138	-	-
その他調整	70	189	87	△ 9	8	△87.8%	-

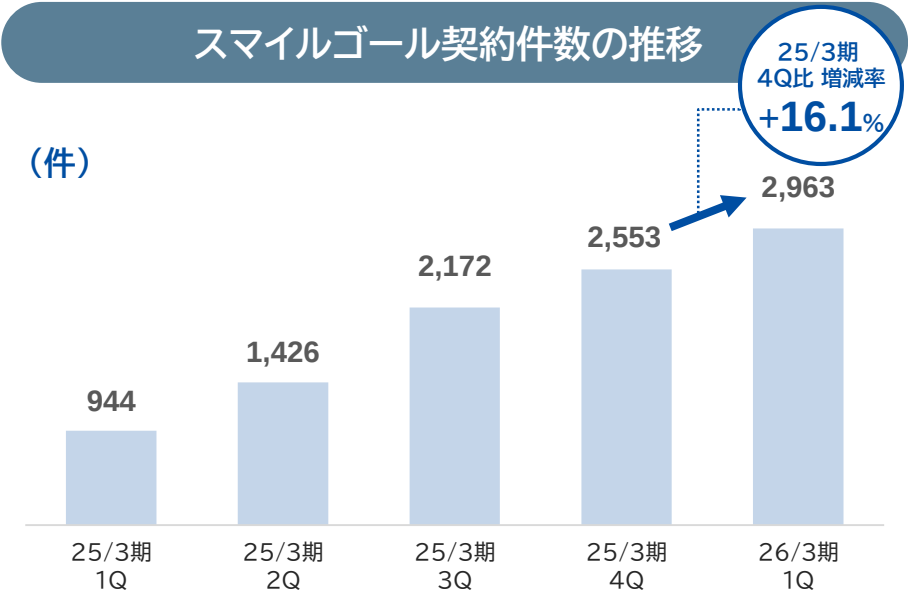
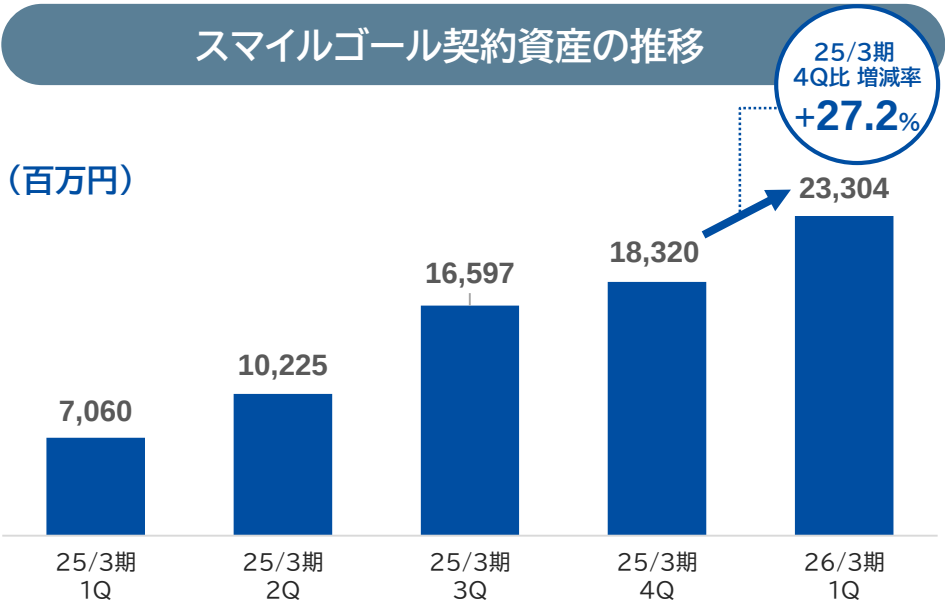
(百万円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期1Q比 増減率	25/3期4Q比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q			
営業収益	4,953	4,580	5,681	5,372	4,242	△14.3%	△21.0%
受入手数料	3,545	3,390	3,779	3,476	3,273	△7.7%	△5.8%
委託手数料	1,499	1,324	1,561	1,383	1,432	△4.5%	+3.5%
引受・売出	1	0	24	6	1	+10.6%	△69.8%
募集・売出	837	831	826	779	785	△6.2%	+0.8%
その他	1,206	1,234	1,367	1,306	1,053	△12.6%	△19.4%
トレーディング損益	1,041	655	823	504	647	△37.8%	+28.5%
株券等	863	496	723	427	556	△35.6%	+30.2%
債券等	70	53	24	24	5	△92.1%	△76.9%
為替等	107	106	75	52	85	△20.2%	+62.9%
金融収益	203	249	195	236	158	△22.2%	△32.9%
その他の営業収益	162	285	882	1,155	162	△0.1%	△86.0%

(百万円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期1Q比 増減率	25/3期4Q比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q			
営業収益	4,953	4,580	5,681	5,372	4,242	△14.3%	△21.0%
株式	2,578	2,039	2,511	1,988	2,181	△15.4%	+9.7%
委託手数料	1,499	1,324	1,561	1,383	1,432	△4.5%	+3.5%
トレーディング損益・金融収益等	1,078	715	949	605	748	△30.6%	+23.7%
投資信託	1,308	1,353	1,408	1,386	1,401	+7.1%	+1.0%
募集手数料	837	831	826	779	785	△6.2%	+0.8%
信託報酬等	471	521	582	607	615	+30.7%	+1.3%
ラップ商品	621	569	656	473	348	△43.9%	△26.5%
固定報酬・信託報酬	288	291	287	284	276	△4.3%	△2.7%
成功報酬	332	277	368	189	72	△78.3%	△62.0%
債券	72	55	27	26	7	△89.3%	△70.2%
不動産	124	127	123	123	125	+1.2%	+2.3%
営業投資有価証券	37	158	759	1,032	36	△3.5%	△96.5%
その他	210	278	196	340	141	△32.8%	△58.5%

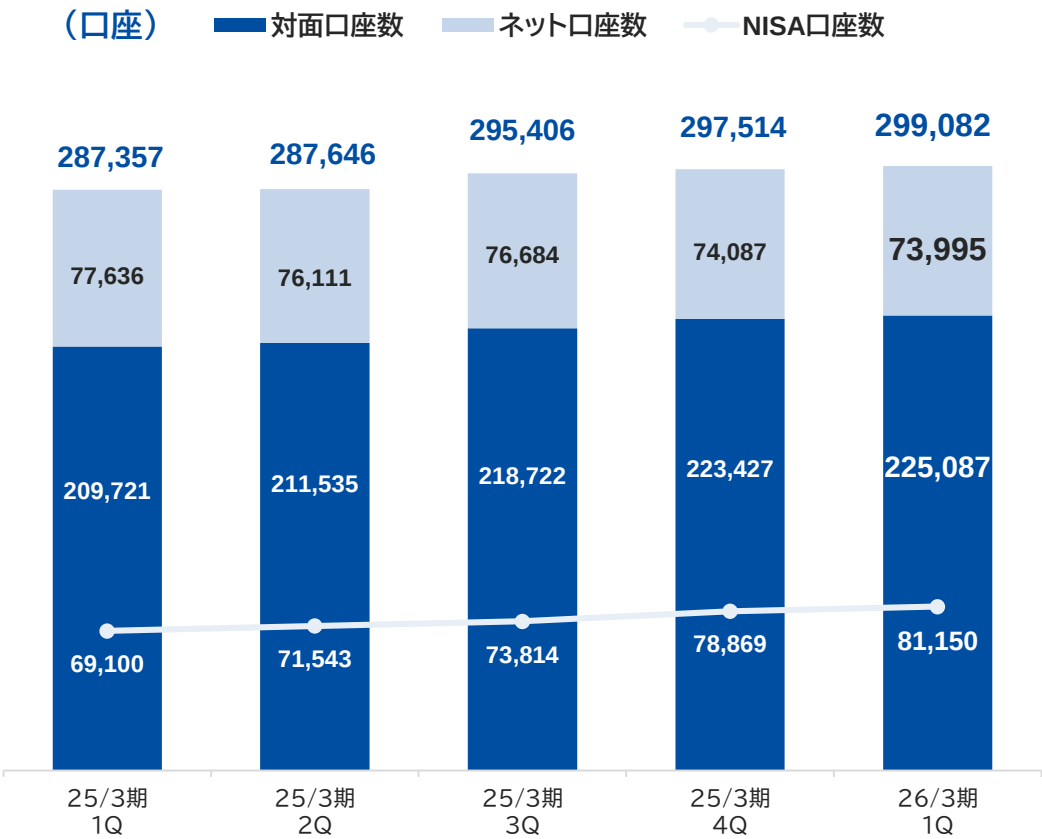
(百万円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期1Q比 増減率	25/3期4Q比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q			
販売費・一般管理費	4,524	4,396	4,618	4,597	4,575	+1.1%	△0.5%
取引関係費	914	903	1,049	1,002	976	+6.8%	△2.6%
人件費	2,347	2,222	2,284	2,244	2,259	△3.8%	+0.6%
不動産関係費	364	383	367	371	373	+2.3%	+0.6%
事務費	628	639	655	739	686	+9.2%	△7.1%
減価償却費	62	70	65	69	81	+30.4%	+16.7%
租税公課	74	84	79	80	79	+5.8%	△2.3%
その他	130	93	115	88	118	△9.2%	+34.4%

(百万円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期1Q比 増減率	25/3期4Q比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q			
営業外損益	263	88	173	158	238	△9.6%	+50.3%
営業外収益	316	130	229	208	299	△5.4%	+43.4%
営業外費用	52	41	56	49	60	+15.4%	+21.4%
特別損益	439	1,019	593	26	726	+65.3%	-
特別利益	695	1,029	593	26	726	+4.4%	-
特別損失	256	10	△ 0	△ 0	-	-	-

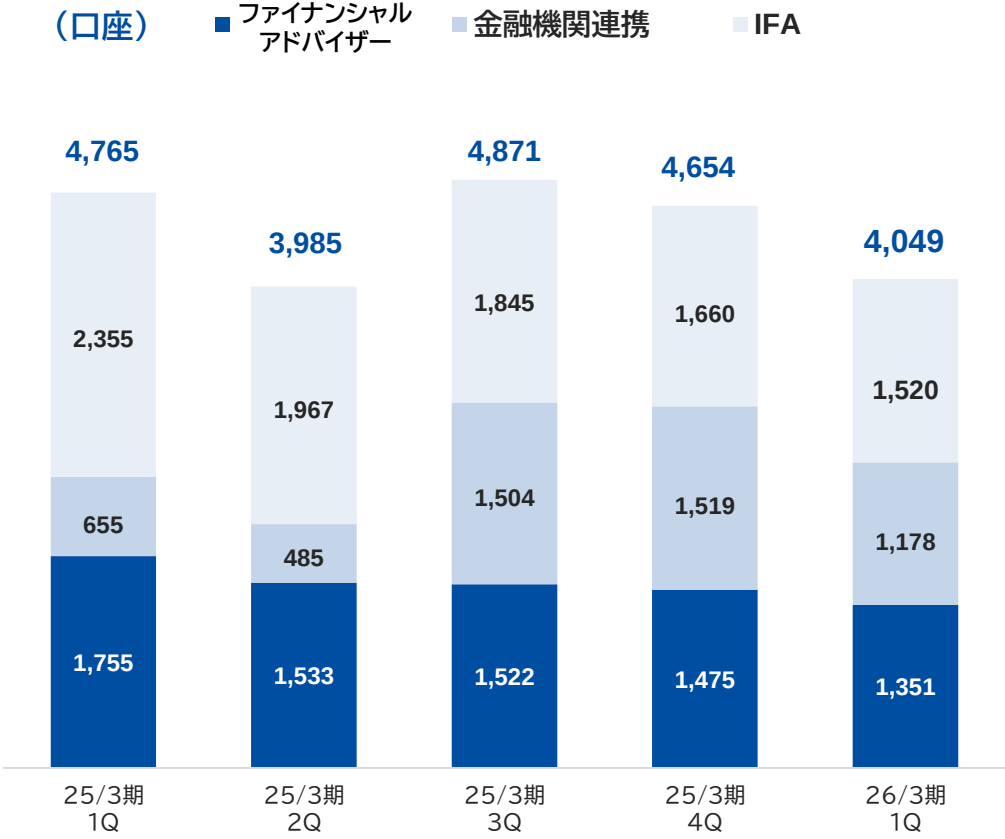
契約資産(時価)(百万円)、件数(件)		25/3期				26/3期 1Q	25/3期4Q比 増減率
		1Q	2Q	3Q	4Q		
スマイルゴール	契約資産(時価)	7,060	10,225	16,597	18,320	23,304	+27.2%
	件数	944	1,426	2,172	2,553	2,963	+16.1%
ブルーラップ	契約資産(時価)	32,707	31,760	33,919	32,530	33,325	+2.4%
	件数	1,418	1,481	1,490	1,494	1,440	△3.6%
ファンドラップ	契約資産(時価)	61,602	57,459	55,012	50,216	48,992	△2.4%
	件数	6,182	5,951	5,596	5,317	5,021	△5.6%
合計	契約資産(時価)	101,370	99,445	105,529	101,066	105,623	+4.5%
	件数	8,544	8,858	9,258	9,364	9,424	+0.6%



総口座数の内訳とNISA口座数の推移

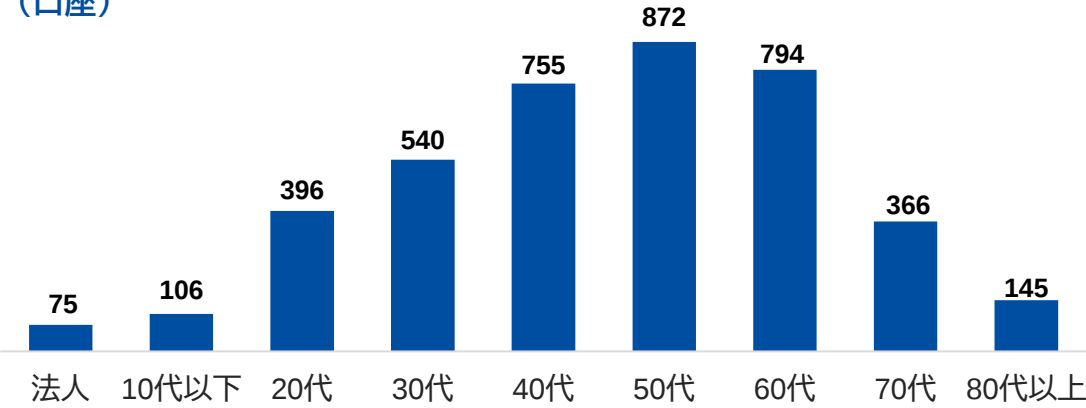


新規口座数の内訳と推移



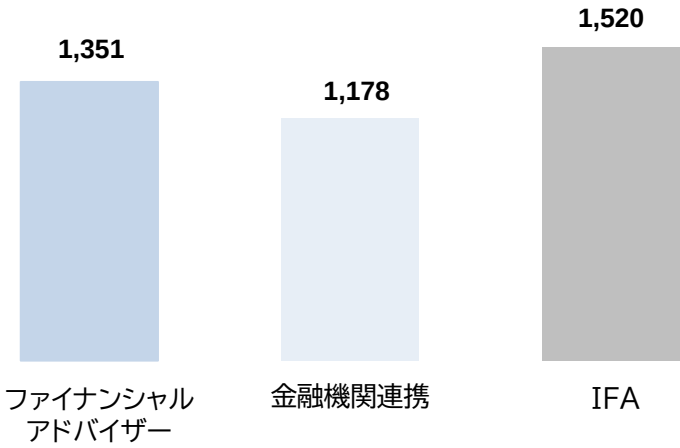
年代別新規口座数

(口座)



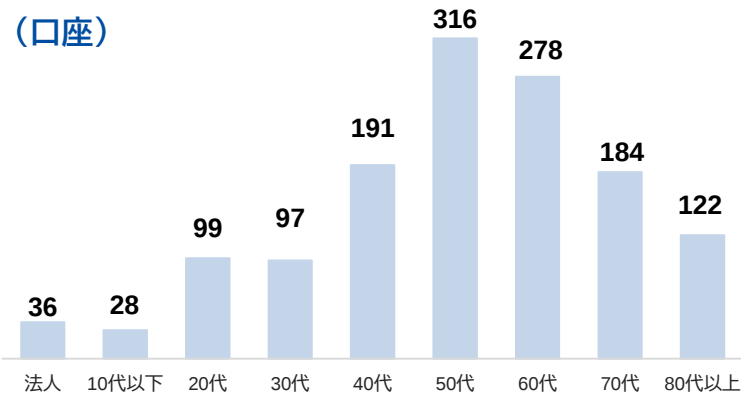
セグメント別新規口座数

(口座)



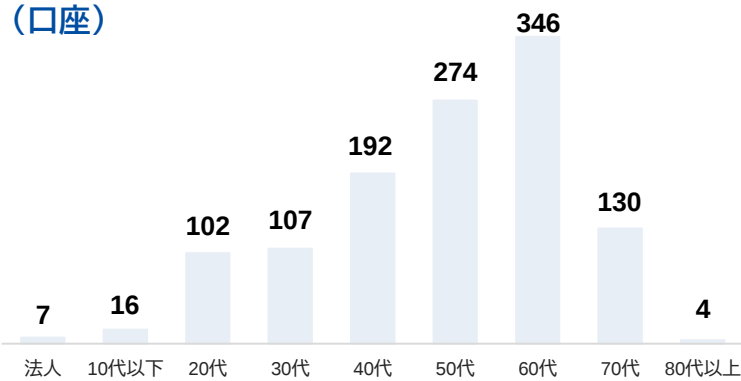
年代別新規口座数(ファイナンシャルアドバイザー)

(口座)



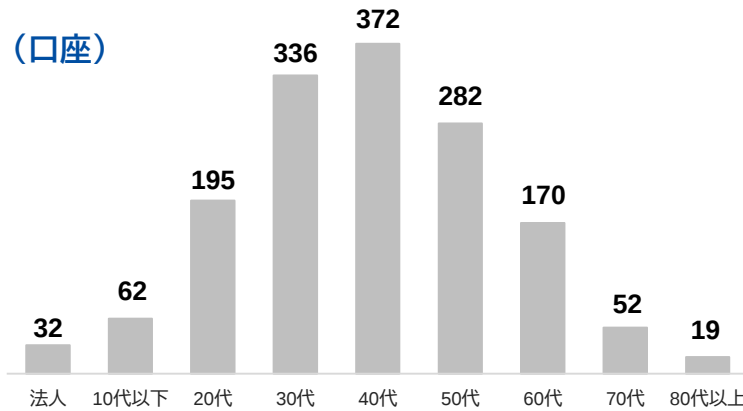
年代別新規口座数(金融機関連携)

(口座)



年代別新規口座数(IFA)

(口座)



株式委託手数料の推移

(百万円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期4Q比 増減率	委託手数料率 26/3期1Q
	1Q	2Q	3Q	4Q			
国内株式委託手数料	1,105	993	1,003	926	946	+2.1%	0.23%
└ 対面	958	854	865	796	814	+2.2%	0.38%
└ ネット	147	138	137	130	132	+1.7%	0.07%
外国株式委託手数料	333	288	518	424	457	+7.8%	1.87%
└ 対面	270	230	456	366	391	+6.6%	1.90%
└ ネット	63	58	62	57	66	+15.0%	1.71%

株式委託売買代金の推移

(億円)	25/3期				26/3期 1Q	25/3期4Q比 増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q		
国内株式委託売買代金	4,075	3,668	3,737	3,605	4,029	+11.8%
└ 対面	1,790	1,690	1,896	1,733	2,143	+23.7%
└ ネット	2,285	1,977	1,841	1,872	1,886	+0.7%
外国株式委託売買代金	175	152	278	231	244	+5.8%
└ 対面	139	117	242	198	206	+3.8%
└ ネット	36	34	35	32	38	+17.7%

※ネット… インターネット取引「ブルートレード」
 ※株式委託手数料にETFは含まれておりません。

アイザワ証券グループ

お問合せ先

アイザワ証券グループ株式会社 経営企画部

E-MAIL ir@aizawa-group.jp

URL <https://www.aizawa-group.jp/>